

PROJECTION SCREEN

AV Stumpf
MONOCLIP32

簡易組立型モバイルスクリーン
(MBCF/MBCR)
取扱い及び設置説明書





この度はスタンフル社製プロジェクションスクリーンをお買い上げ頂き誠にありがとうございます。
本製品を正しくお使い頂くため取扱い及び設置説明書をよくお読みください。
お読みになったあとは、後日お役に立つこともありますので大切に保存してください。


安全上のご注意


スクリーンを正しく利用し、人や財産への損害を未然に防止するため、使い方や設置の仕方を誤ったときに生じる危害や、損害の程度により次の絵表示で区分し、説明しています。


◆ 下記のマークのある注意事項及び、指示内容に関しては必ずお守りください。




	警告	この表示の欄は「死亡または重傷などを負う可能性が想定される」内容を表しています。
---	-----------	--

	注意	この表示の欄は「傷害を負う可能性または物的損害が発生する可能性が想定される」内容を表しています。
---	-----------	--

	このような絵表示は、気をつけていただきたい「注意喚起」の内容を表しています。
---	--

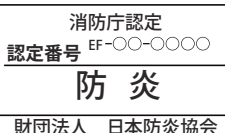
	このような絵表示は、してはいけない「禁止」の内容を表しています。
---	----------------------------------

	このような絵表示は、必ず実行していただきたい「強制」の内容を表しています。
---	---------------------------------------

	注意	<ul style="list-style-type: none"> ● 組み立ては必ず2名以上で、スクリーンの大きさ、重量に応じて必要な人数で行ってください。 ● スタンドを設置する場合は、平らな場所を選んでください。スタンドが傾いていると転倒する恐れがあります。 ● 人が通らない場所を選んで設置し、お子様などが誤って触れないよう充分注意してください。
	禁止	<ul style="list-style-type: none"> ● スクリーンは、屋内での使用を想定して設計しております。屋外などの風の影響をうける場所では、スクリーン面全体に大きな力が加わり転倒する恐れがありますので、必ず屋内で使用してください。
	警告	<ul style="list-style-type: none"> ● スクリーン及びスタンド収納後は、それぞれたてかけたまま放置しないでください。転倒する恐れがあります。

取り扱い上の不備又は天災などによって発生する事故・損傷については、当社は一切責任を負いかねます。

防災ラベル



消防法により不特定多数の人が出入りする公共施設に設置されるスクリーンは、防災性能試験に合格したスクリーンを使用することが義務付けられています。防災ラベルは防災性能試験に合格したことを証明するものです。スクリーン生地裏側に防災ラベルが貼られていることを確認してください。

付属品

※予備として各種1～2本多く入っている場合があります。

T-Leg使用時



M8-50ボルト 4本

AT-Leg使用時

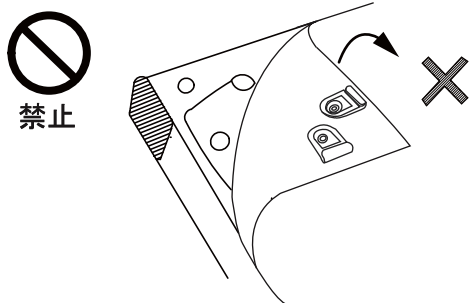


M8-50ボルト 8本

使用上のご注意

本製品は誰にでも簡単に張込むことが出来るクリップ方式を採用しております。
思わぬ破損を避けるため、次のことに充分注意してお使いください。

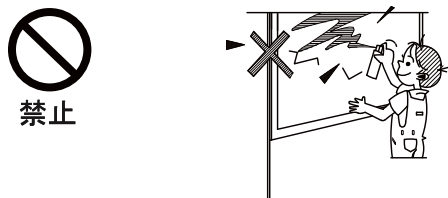
- スクリーンを外す際はP 6の張込み方法と逆の手順で外してください。
スクリーンをめくるような外し方をするとスクリーンやクリップを破損します。



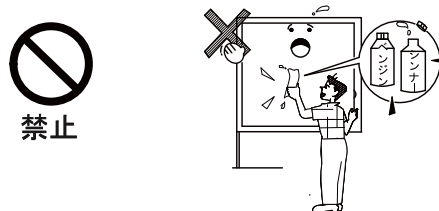
- 冬季にはスクリーン生地が冷えて硬化し破損の原因になるため、暖房の効いた部屋などで温めて柔軟性を取り戻してから使用してください。



- スクリーン面に文字などを書かないでください。スクリーン面に書かれたものは、筆記用具の種類を問わず消すことができません。



- シンナーなど溶剤系のものでスクリーン面を拭かないでください。スクリーンの表面が変質したり傷んだりします。



お手入れの仕方

- スクリーン面のほこりをとるときは、柔らかいブラシで軽く払ってください。また、スクリーン面に付着した汚れは洗剤で濡らしたスポンジ(食器洗い用)で落とした後布で水拭き、乾拭きをしてください。



置き場所・保管についてのご注意

- 直射日光の当たる場所、ホコリや湿気の多い場所や熱気具のそばなど、直接熱が当たる場所は変形・故障や事故の原因となります。また、高温の車中への放置もさけてください。

スクリーン組立て方法

クリップタイプ スクリーン注意事項

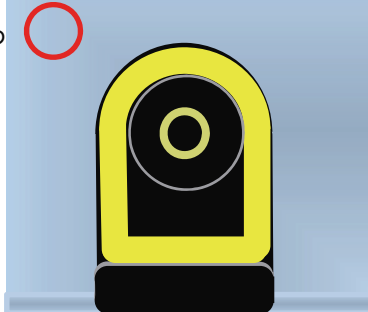


クリップが掛からない？

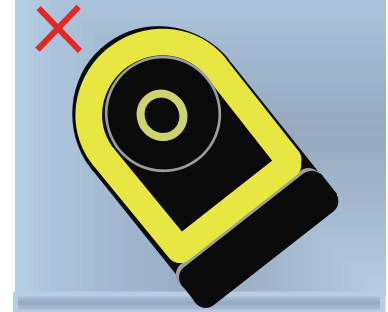
※クリップの向きが真直になっているかご確認ください。

※クリップの向きが斜めになっていたりするとフレームの溝に掛かりにくくなります。

クリップの向きが真っすぐになっている。



クリップの向きが斜めになっている。



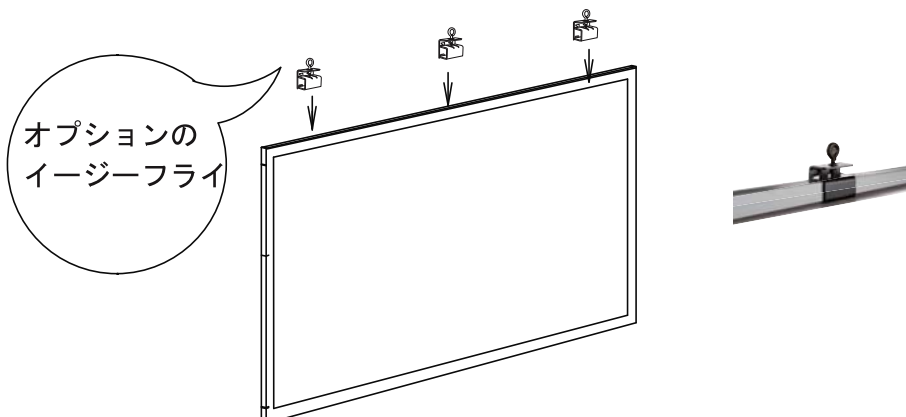
クリップの掛け方



！スクリーンをフレームに軽く押さえつけるように引くと自然にクリップが掛かります。

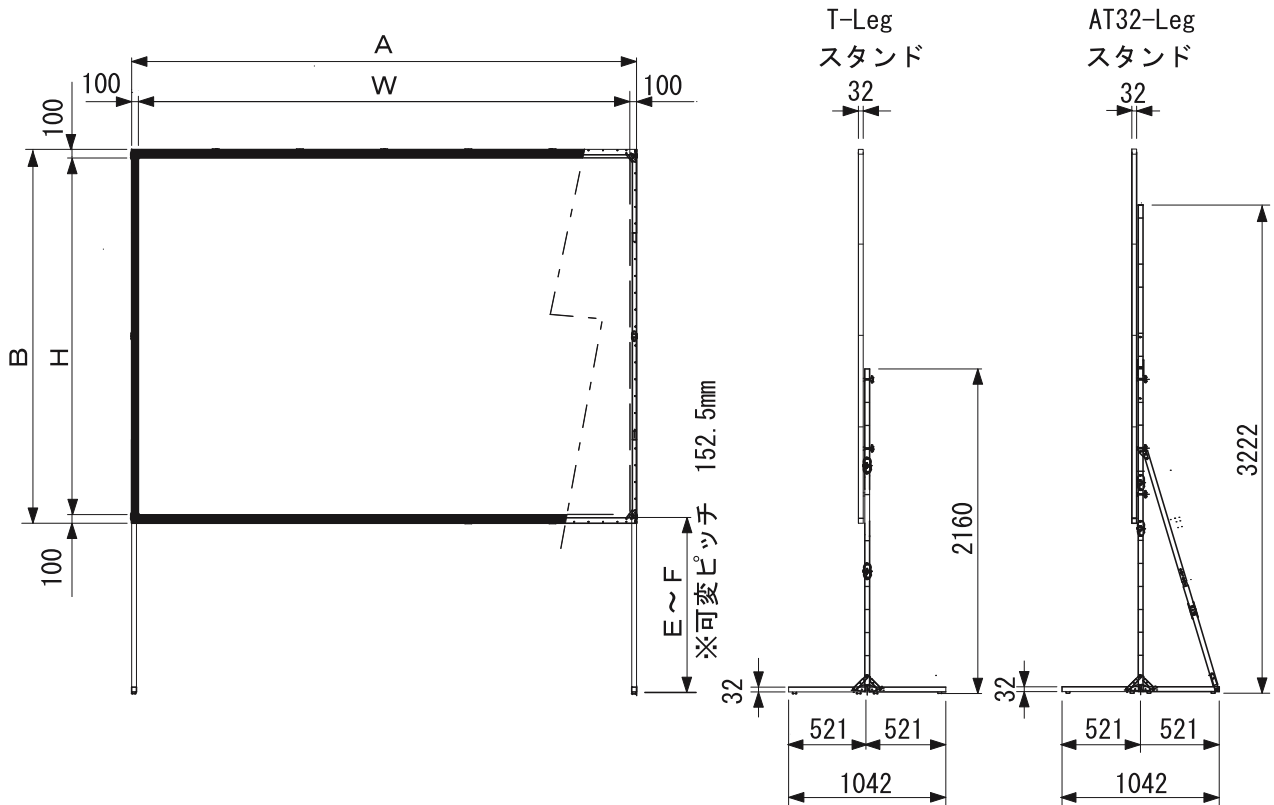
◆イーजीフライ(オプション)をスクリーンフレームの取付け、バドンなどに吊り下げてご使用になる場合

- スクリーンをワイヤーロープなどで吊り下げてください。



- イーजीフライはスクリーン生地を張込む前に取付けてください。
- ワイヤーロープなどは付属していませんので別途ご用意ください。また使用するワイヤーロープなどは、スクリーンの重量に応じて適切なものを選んでください。

スクリーン寸法図



スクリーン規格一覧

NTSCサイズ(4:3)

型番		スクリーンサイズ (W) × (H)	外形寸法 (A) × (B)	付属 スタンド	スクリーン高さ		重量			
フロント	リア				Min (E)	Max (F)	スクリーン		フレーム	付属 スタンド
						フロント	リア			
MBCF-100	MBCR-100	2000 × 1500	2200 × 1700	T-Leg	160	1075	1.8	2.0	6.1	4.6
MBCF-120	MBCR-120	2440 × 1830	2640 × 2030	T-Leg	160	1075	2.2	2.7	7.4	4.6
MBCF-150	MBCR-150	3050 × 2290	3250 × 2490	AT-32	160	1990 *	3.0	3.8	9.6	9.9
MBCF-180	MBCR-180	3660 × 2740	3860 × 2940	AT-32	160	1990 *	4.8	5.2	11.3	9.9
MBCF-210	MBCR-210	4270 × 3200	4470 × 3400	AT-32	160	1990 *	5.2	6.9	12.5	9.9
MBCF-240	MBCR-240	4880 × 3660	5080 × 3860	AT-32	160	1990 *	6.5	8.6	14.1	9.9

HDサイズ(16:9)

型番		スクリーンサイズ (W) × (H)	外形寸法 (A) × (B)	付属 スタンド	スクリーン高さ		重量			
フロント	リア				Min (E)	Max (F)	スクリーン		フレーム	付属 スタンド
						フロント	リア			
MBCF-100HD	MBCR-100HD	2180 × 1230	2380 × 1430	T-Leg	160	1075	1.5	1.7	6.5	4.6
MBCF-120HD	MBCR-120HD	2660 × 1500	2860 × 1700	T-Leg	160	1075	2.0	3.0	7.2	4.6
MBCF-147HD	MBCR-147HD	3250 × 1830	3450 × 2030	T-Leg	160	1075	2.7	3.4	8.2	4.6
MBCF-165HD	MBCR-165HD	3660 × 2060	3860 × 2260	AT-32	160	1990 *	3.2	4.4	9.0	9.9
MBCF-183HD	MBCR-183HD	4050 × 2290	4250 × 2490	AT-32	160	1990 *	3.7	4.9	11.4	9.9
MBCF-193HD	MBCR-193HD	4270 × 2400	4470 × 2600	AT-32	160	1990 *	4.7	6.2	11.9	9.9
MBCF-220HD	MBCR-220HD	4880 × 2740	5080 × 2940	AT-32	160	1990 *	5.0	6.6	12.9	9.9



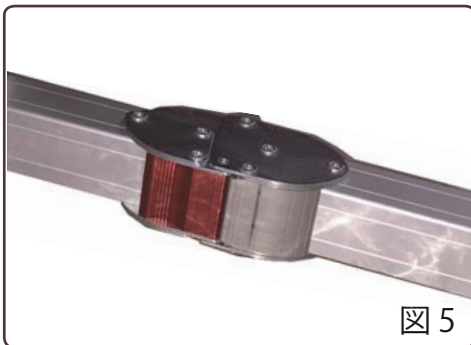
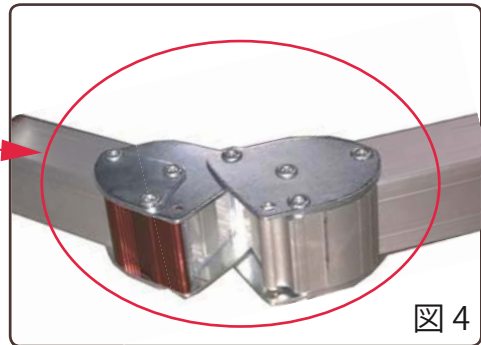
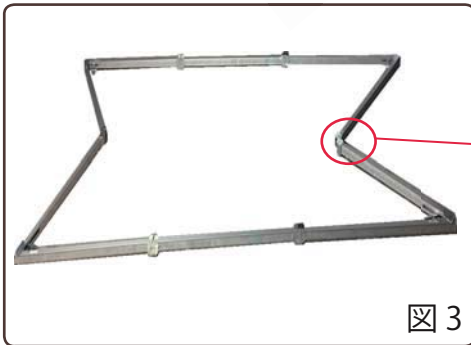
注意

スクリーンは、*表記高さまで可能ですが高い位置にセットする場合は重なりを置くなどして転倒防止の装置をしてください。

スクリーン組立て方法

(1) スクリーンフレーム組立て

- 図1～7の順序でおりたたまれたフレームを広げます。
(基本構成：スクリーンフレーム)



❗ ロックが掛からない場合は「カチッ」というロック音が聞こえるまでボタンを押し込んでください



コーナー金具が図6のように直線になっていない状態で使用されますと、フレームの変形やスクリーン損傷が発生する恐れがありますので、必ず直線にしてロックをしてください。



ロックをする場合、指をはさまないように注意してください。コーナー金具に指をはさみ、けがの原因となることがあります。

スクリーンの張込み及びスタンド組立て方法

(1) スクリーン張込み

- ① クリップが付いた面を下にして組立てたフレームの上にスクリーンを広げます。
- ② 図1の順で各コーナープレート金具にクリップを引っ掛けます。
- ③ 縦・横方向のクリップを図4の順でフレームの溝に引っ掛けていきます。



クリップ

スクリーン
生地裏面

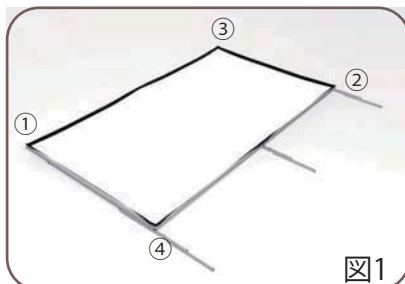


図1



図2

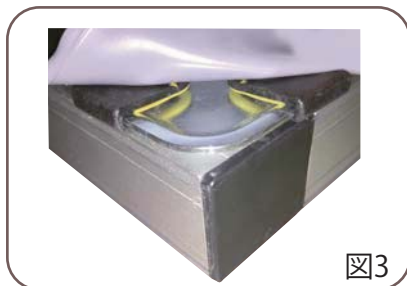


図3

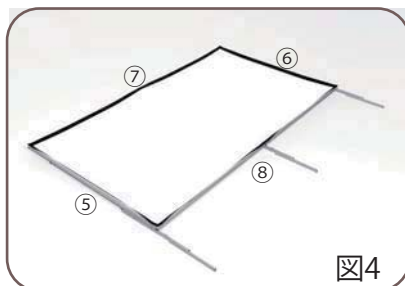


図4

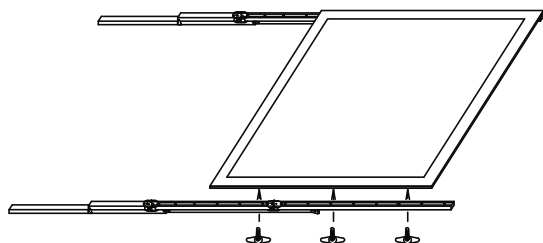


図5

(2) スタンド組立て

● スクリーンをスタンドに取付けてご使用になる場合

- ① スタンドを広げ、付属のM8-50mm ボルトでスクリーンフレーム部分とスタンドを固定してください。



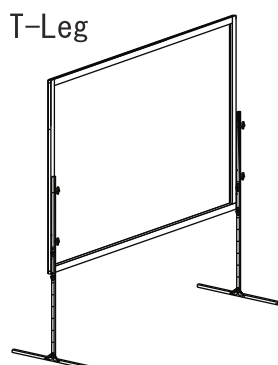
付属のボルト



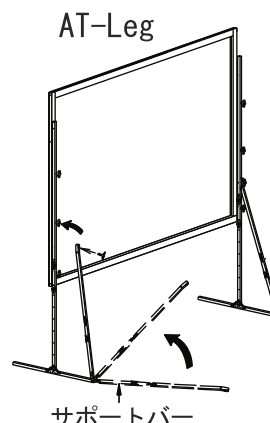
注意

- ボルトの使用本数はスクリーンの大きさ及び設置高さに合わせて必要な本数を使用してください。
- スクリーンの張力によりフレームに反りが発生した場合、スタンド取付けの際、ボルトの穴位置が合わせにくくなる場合があります。このような場合はスタンドを先に取付けてからスクリーンの張込みをおこなってください。

- ② セットされたスクリーンとスタンドを立ち上げます。AT-Legスタンドを使用する場合は、サポートバーを付属のM8ボルトで固定してください。



T-Leg



AT-Leg

サポートバー



販売元・問い合わせ先

株式会社 ケイ アイ シー

■ 本 社 〒160-0022 東京都新宿区新宿1-28-11 小杉ビル
TEL.03-3357-4839 (代) FAX.03-5357-7455

■ H P <http://www.kic-corp.co.jp/>

KIC CORPORATION .2020.1